

第2回 ミニふれスポーツ大会

童心に帰って楽しみました！

9月29日(日)「ミニふれスポーツ大会」が、郷州小学校体育館で開催されました。今回は、昨年度に続く第2回目で、競技種目を一部変更して実施しました。

応援を含めた総勢113名を赤チーム(1、4丁目合同)、白チーム(2、5、8丁目合同)、緑チーム(3、7丁目合同)、黄チーム(6丁目単独)の4チームに分け、輪くぐり、輪投げ、玉入れの3競技を行い、合計得点を競いました。

準備運動として、ラジオ体操を行ったあと、各チーム前のスペースを音楽に合わせて自由に歩き、音楽が止まったら近くにいた人と挨拶し握手。次に音楽が止まったら肩たたき。次はハグと3回行い、顔を覚えていきます。進行役から2回目に挨拶した人を探しましょうと言われ「あれ、誰だったかな?」「この人は2回目じゃなかった?」等笑いがおきました。歩くだけでなく脳トレを伴う準備運動でした。



フレイル予防を兼ねた準備運動

最初の競技は10名で行う輪くぐりで、みずき会役員が実演。相手からの輪を如何に早く手を使わず頭をくぐらせ足を上げて次の人に送れるかが勝負です。競技が始まると、すいすいと輪くぐりを成功させる人、頭をくぐらせることに苦労する人、足が上がりず輪が抜けない人等、単純な動きながら観客からの大声援もあり、汗をかかばかりの白熱した競技になりました。



輪くぐり：予想以上に白熱

次の競技は5名で行う輪投げで、投げる技量だけでなくちょっとした運にも左右される競技です。「入った、すごい」「惜しい、残念」と周りから歓声と溜息が湧き上がります。投げている競技者は真剣そのものでした。



輪投げ：大量得点に歓声！

最後の競技は6名で行う玉入れで、普通玉（1点）50個とボーナス玉（5点）2個を使用します。高得点を取るにはボーナス玉2個を籠に入られるかどうかにかかっており、誰が投げるかが重要になります。4試合が終わり、最後となる5試合目は、下位チームでも一発逆転が可能になるよう特別ルールを採用し、ボーナス玉のポイントを2倍の10点としました。応援が最高潮に盛り上がる中、ボーナス玉を入れることに成功したのは、リードしていた白チームのみで、2位の緑チームとの差を広げて堂々の優勝を飾りました。



玉入れ：逆転を狙うも不発に

<最終結果> 1位：白チーム 286点 2位：緑チーム 261点
 3位：赤チーム 256点 4位：黄チーム 234点

チーム	輪くぐり				輪投げ				玉入れ					総合合計	総合順位	優賞	
	第1	第2	第3	小計	第1	第2	第3	小計	第1	第2	第3	第4	第5				小計
赤	10	5	10	25	45	45	30	(20)	28	16	14	28	25	(11)	250 342	3	
白	15	10	20	45	55	38	52	(45)	22	14	10	19	31	(96)	286 357	1	🌸
緑	20	15	15	50	44	23	59	(26)	11	16	17	26	15	(85)	267 331	2	
黄	5	20	5	30	15	21	65	(10)	22	19	17	22	23	(103)	234 314	4	

最終得点と順位

全競技終了後、表彰式を行いました。優勝チームの代表者にスピーチをお願いし、最後は恒例の澤田会長リードのもと、三田明の「美しい十代」を全員で合唱し、「ミニふれスポーツ大会」を無事終了する事ができました。

参加された方からは「疲れたけど、楽しかった」、「また、来年もあるといいね」、「入口の花が懐かしく、運動会を思い出した」などの感想が寄せられました。



役員手作りのペーパーフラワー

最後にこの紙面をお借りして、準備、後片付けにご協力頂いたミニふれ代表世話人、サポーターの皆さまに厚くお礼を申し上げます。